

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	法学部	身分	教授
氏名	中澤 秀雄		
NAME	Nakazawa Hideo		

1. 研究課題

（和文） 東北地方における鉱山資源を活用したまちづくりに関する研究

（英文） Research on machizukuris on reactivating mining resources in Tohoku area

2. 研究期間

2年間（ 2018-2019 年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）申請者は過去2回にわたり、「まちづくり」に関する研究で特定課題研究費を受けてきたが、本課題はその連続線上に位置づけられる。今回は対象地域を東北に限定し、また中世から近世にかけて重要資源であったが終掘によって忘れられていた東北の諸鉱山と関連文物をまちづくり資源として位置づけなおす基礎作業を行った。

黄金の島ジパング伝説を生んだように、奈良大仏を覆った黄金の塗装や、奥州藤原氏の本拠・平泉中尊寺の黄金は世界を驚かせたが、これらの黄金は東北地方とりわけ三陸の金鉱山からもたらされたものである。岩手の偉人・宮澤賢治が鉱物学者としての側面を持っていたことも知られているが、北上山地の多様な鉱物資源という財産があってこそ、賢治の活動と作品世界が花開いたことも、特筆されるべきである。

本課題の研究期間において、基礎的な文献資料の収集につとめ、東北鉱山史やその関連文物の基本的配置を理解できた。また、東北各地で鉱山資源を基盤にしたまちづくり活動が叢生しつつある象徴として、令和2年の日本遺産に『みちのく Gold』が認定されたことは、本テーマの普遍性を象徴する出来事であった。気仙沼の鹿折金山資料館の中村館長へのインタビュー等を通じて、さらに潜在的な可能性を理解したところであり、その成果はNETT誌に掲載する論文等で報告する。

（英文）

Tohoku area boasts rich mineral resources from the ancient to pre-modern era. Here is said to be the root of famous Gipangu tale, and indeed the golds produced from mines along the Sanriku coast were the source of power of Oshu Fujiwara Clan, Yamato dynasty, and Date clan(Sendai-han). This research theme tries to reactivate these memories by deploying the related document and oral archive materials. The research output will be published on an article accepted in the Journal "NETT"(vol.109), published by North East Think Tank of Japan.